

新宮木協コミュニケーション誌

No.140 1/1



新宮

木協だより

2018年(平成30年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL. 0735-22-6105(代)
FAX. 0735-22-6107

URL:<http://www.shingumokkyo.com> e-mail:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



賀 正

初市へ出品される丸太

(株)新宮原木市場 新春初市 1月18日(木)午前10時開市

新年のぐい挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとう

ございます。旧年中は組合活動に格別のご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、新たな年を迎えるにあたり、今年も「新宮・紀宝道路」問題について、組合の歴史を振り返りながら述べさせていただきます。

百年以上にわたる組合の歴史の中では様々な問題、転機となる事があつたと思いますが、今から三十七年前に建碑された「百周年記念之碑」には

左記のように書かれています（一部抜粋）。

「明治、大正、昭和の三代にわたる疾風怒濤にも耐えぬき基盤用地の入手、陸上貯木場の造成、原木市場の開設、外材移入港の整備等相次いでその実績を挙げ得たことは、これ偏に歴代理事長、役員の見識的指導と組合員各位の結束と協力の賜である。」

実績として列挙されている「基盤用地の入手」、「陸上貯木場の造成」、「原木市場の開設」、「外材移入港の整備」とは、荒地であった「あけぼの」の地を明治時代に取得し

熊野川を流送されてくる筏の流通拠点とするため開掘して水面貯木場にした事、戦後熊野川流域でのダム建設により筏の流送ができなくなった際に水面貯木場を埋め立て陸上貯木場に転換した事、組合が大株主となる形で(株)新宮原木市場を開設した事、新宮港に土地を求め外材の拠点として整備した事を指します。

これらはその時代時代の最重要課題であり、当時の組合の中で様々な議論が交わされ、また行政、電源開発等と幾度となく粘り強く交渉をし、妥結されたものと思います。翻って現在の組合の最重要課題は、陸上貯木場（「上貯木場」・「下貯木場」）の一部に建設予定である「新宮・紀宝道路」

問題であります。

ご存知のように「上貯木場」は主に組合員の製品・丸太置場として、「下貯木場」は(株)新宮原木市場の市売り場所として有効活用されておりますが、特に「下貯木場」は道路

建設により真ん中で土地が分断される形になり、残地で市売りをする事は不可能です。そこで市売り場所を「下貯木場」から「上貯木場」に、それに伴い製品・丸太置場を「下貯木場」の残地に移転する等の対策を講じなければなりません。移転をどのようなスケジュールで進めるか、残地をどのように有効活用するかが問題が山積しておりますが、先人たちが「明治、大正、昭和の三代にわたる疾風怒濤にも耐

えぬき相次いで実績を挙げ得た」ように、現代に生きる我々も結束と協力をもってこの問題に対処し、行政側と粘り強く交渉していかねばならないと思っております。
新たな年を迎えるにあたり、組合員の皆様に今一度ご指導・ご協力をお願い申し上げます。皆様方のご健勝・ご多幸を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年も

よろしくお願ひ
申し上げます

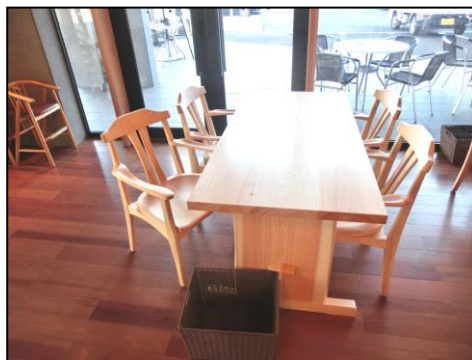
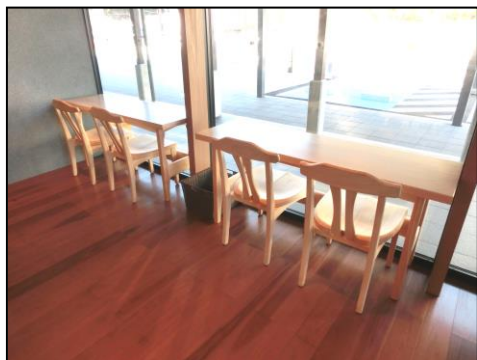
組合員一同



太地町道の駅
『たいじ』
備品追加納入

昨年8月にオープンした太地町道の駅『たいじ』へ当組合から新緑会に依頼し、椅子・テーブル・陳列棚等の備品を納品させて頂きました。その道の駅が大変好評で、レストラン部分に使用する椅子・テーブルが不足する事態になっているそうです。そこで、太地町から椅子・テーブルの追加注文を頂きました。当組合で納めた製品もお客様からお問合せを頂くほど好評とのことで再度当組合に依頼して頂き、12月20日に無事納めさせて頂きました。

当組合としましても、納めた製品で喜んで頂けるのは本当にうれしい事です。皆さんも機会がございましたら是非お立ち



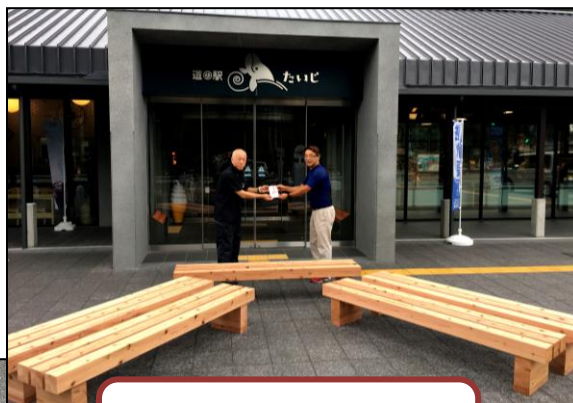
寄り頂き、温かい木材製品に触れてみてはいかがでしょうか。

追加発注で納入したテーブル・イス

太地町
『木製ベンチ』
寄贈

昨年10月2日に当組合代表として速水 祥久氏、新緑会代表として会長 速水 洋平氏、副会長 野中 亮伸氏が太地町へ出向き、道の駅『たいじ』で木製品の注文を頂いた感謝の気持ちと木のPRを兼ねて当組合と新緑会で製作した杉の木製ベンチ5台を太地町へ寄贈致しました。

太地町の関係者は寄贈した木製ベンチを見て、大変喜び「道の駅敷地内には是非置かせて頂きます。」とのお言葉を頂戴しました。
皆さんも道の駅『たいじ』へ行かれた際は、寄贈した木製ベンチへ腰かけて休憩してみてください。



木製ベンチを寄贈



新宮・紀宝道路

経過報告

平成29年3月29日の第2回目の説明会以来、国交省等から新しい提案が出てこない状況の中で9月28日に組合から協力出来る内容についての提案を致しました。その後、本体事業の交渉には進展はありませんが、和歌山県から別角度でのアプローチとして新しい提案がありましたので現状検討を行なっているところです。本新宮・紀宝道路によって歴史と伝統ある木材界にとって、その中心的役割を果たしてきた貯木場が分断されるといふ存続の危機とも言える重大な局面を迎えております。

今後とも地域経済のため将来の木材業の存続のため粘り強く交渉を行って参りたいと存じます。

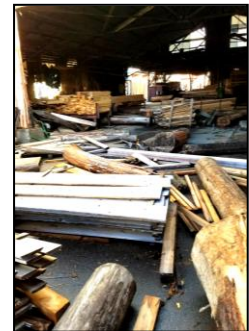
台風21号

木材界被害

昨年10月22日(日)に紀伊半島をかすめた台風21号は猛烈な雨と強烈な吹返しで多くの方に被害をもたらしました。

今回の台風は、記憶に新しい平成23年の台風12号とは違い、新宮市内を中心とした大雨で、市内の排水能力が対応できず低い土地に雨水が流れ込み床上浸水等の被害が出ました。又、雨が収まった後に吹いた強烈な吹返しの風により、工場や倉庫などの屋根、壁のトタンが飛ぶなどの暴風による被害も出ました。

当組合員の中にも製材工場の冠水・破損、自宅の床上浸水、所有山林の林道崩壊等多くの方が被害に遭い、現在は夫々多くの人に協力を頂き営業を再開しております。関係者の皆様にはご心配をお掛け致しましたが、心温まるご支援、お見舞いを頂きましたこと心よりお礼申し上げます。



冠水した水による被害



雨水がたまり浮いた原木

キャラバン活動

公共建築物に於ける気州材の利用促進を図るため和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例年近隣自治体を訪問してキャラバン活動を行っています。

昨年も次の通り実施し紀州材のPRに努め、その中で新宮市長より、文化複合施設建設の際はふんだんに紀州材を使用するとのお言葉を再度頂戴しました。

又、太地町には備品で紀州材を使用して頂いた事に感謝の言葉を伝えました。

更に、那智勝浦町、北山村にも出向き、より一層多方面で紀州材を使って頂くよう働きかけてまいりました。

記

平成29年11月8日(水)

午前10時

◇新宮市を訪問

午前11時

◇太地町を訪問

午後2時30分

◇那智勝浦町を訪問

平成29年11月16日(水)

午前9時

◇北山村を訪問



新宮市訪問



太地町訪問



那智勝浦町訪問



北山村訪問

全木協連会長賞受賞

岡崎 武人氏

日時 平成29年

11月9日(木)

奈良県奈良市のなら100

年記念館で行なわれた第52回全国木材産業振興大会に於いて木材産業功労者として長年新宮木材業界で活躍されている、当組合理事の岡崎 武人氏が全木協連会長賞を受賞され当日の表彰式に出席されました。受賞された岡崎氏は「長年の苦勞が報われました。これからも息子と共に頑張っていきます。」と喜びの言葉と感謝を述べられました。



植松理事長と岡崎理事

「日本木工機械展/ウッドエコテック」は西暦の奇数年の秋に名古屋で開催され、2017年で43回目を迎えた2017展は「木」とつながるテクノロジー エコロジーをテーマに川上から川下までの各産業に向けた、製材機械、合板機械、木工機械などの木材加工機械をはじめ刃物、乾燥機器、プラスチック加工機、エコ

日本木工機械展
ウッド エコテック
2017

平成29年

10月27日(金)

30日(月)の4日間

場所:愛知県 ポート

メッセなごや

「日本木工機械展/ウッドエコテック」は西暦の奇数年の秋に名古屋で開催され、2017年で43回目を迎えた2017展は「木」とつながるテクノロジー エコロジーをテーマに川上から川下までの各産業に向けた、製材機械、合板機械、木工機械などの木材加工機械をはじめ刃物、乾燥機器、プラスチック加工機、エコ



表彰状と岡崎理事

機器、環境機器、林業機械等の内外の最新製品が多数展示される国内業界最大の展示会になります。大学・研究機関・団体による展示をはじめ、セミナー・講演会等の併催事を多数企画し、木材産業全般に向けて最新情報が発信されています。

家具、建具、木工、集材、建築、製材、合板、環境、林業、プラスチック、エコロジー等の多数の関係者が来観する一大イベントとなっています。

この展示会へ当組合から板谷 貴史氏が参加された。会場の雰囲気や気になった機械等についてコメント頂きました。

「初めて参加したが、会場内に10mを超す大きな焼却炉を組立てた状態で展示していたり、木材加工用ロボットが実際に動いていたりと規模の大きさを実感した。」又、「参加した企業やお客さんの約3割程度が中国や韓国、その他世界各国の外国人

が多く参加していて驚いた。」との感想を頂きました。

その他にも、気になった機械として『軽トラックの荷台に収まるペレット製造機』、『水平・テンション・バック・新鋸腰入れまでを全自動で行なう帯鋸用自動ロール機』、『大井製作所の高蒸気式減圧乾燥機』等を紹介して頂きました。

ただ、製材機械は少なく木工機械や焼却炉・乾燥機・粉碎機の関連機械が多く見受けられるとのことでした。

最後に、板谷氏から「機械展自体は大変面白く、業界の流れを体感し、今後に繋げるいい勉強になったので、みなさんも興味がある方は是非行かれる事をお勧めします。」と締めくくりました。

(一部の資料は事務局にございますので、興味のある方はお問合せ下さい。)



ペレット製造機



帯鋸用自動ロール機



10mを超える焼却炉



パンフレット表紙

出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しむことを目的として、出張木工教室を開催しています。

昨年も森林教育として実際の木を前に新宮の木材の歴史等の説明を行ない、「木」をより身近に感じ、知識を深め、木に親しんで頂きました。

又、実際の作業では会員であるプロの木工さんに先生として教えて頂き、ミニベンチを製作しました。木と真剣に向き合い、楽しげな子供達に、改めて活動の意義を感じました。この活動を通して、子供達の心に木と触れ合った記憶が刻まれ、興味を持って頂けたら幸いです。



製作風景

本事業にご参加、ご協力頂いた全ての皆様に、心より御礼申し上げます。更に、森づくり基金等の補助金を活用させて頂き、本当に有難うございます。今後も、出張木工教室を継続し未来ある世代に木と触れあう時間を提供して参ります。

(久保 雅稔)

第39回 児童生徒木工工作コンクール

平成29年9月30日・

10月1日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催致しました。424名と例年同様、多数の方にご来場頂きました。

恒例となった風船釣りも大好評で、多くの子供達に楽しんで頂きました。本展では26校、500点の木工作品を展示し、上位3点は、全国大会の審査にエントリーされ、その中で優秀作品は今年



自分達で作った作品を持って誇らしげな笑顔

6月に東京都で行われる全国大会で表彰される予定です。

木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(野中 亮伸)

日本木材青壮年連合会

近畿大会 in 京都

平成29年12月2日(土) 場所…京都市中京区

会場…「神泉苑 平八」 日本木材青壮年連合会の近畿ブロックによる近畿大会が京都で開催されました。

新緑会からは野中氏、岡崎氏、中谷氏、久保(雅)氏が参加し、二条城の見どころの説明や式典会場で「龍馬、西郷、新撰組から学ぶ経営論」の講演が行なわれました。

又、式典終了後行なわれた懇親会では、近畿ブロック内の他県と交流を深めることができ有意義な時間となりました。



審査風景



来場者の様子



式典風景



◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成29年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	6,900 (6,800)	6,900 (6,900)	7,300 (6,800)	4	6~13
	3m 14~20	8,200 (10,300)	8,400 (10,100)	9,100 (8,800)	3	14~20
	3m 22cm上材	11,100 (11,400)	11,300 (12,200)	12,100 (11,900)	3	22~
	4m 14~22	8,700 (7,700)	9,700 (8,100)	8,600 (8,000)	4	14~22
	4m 24cm上材	12,600 (11,600)	10,900 (10,700)	12,700 (11,400)	4	24~
檜	4m 小丸太材	6,100 (5,200)	6,500 (6,800)	6,200 (5,500)	4	6~13
	3m 14~20	9,100 (9,900)	9,500 (8,800)	9,500 (11,800)	3	14~20
	3m 22cm上材	16,900 (22,100)	13,800 (12,000)	12,400 (16,800)	3	22~
	4m 14~22	11,300 (16,100)	11,100 (13,100)	10,700 (11,900)	4	14~22
	4m 24cm上材	19,200 (23,300)	16,500 (17,600)	14,300 (19,000)	4	24~
杉総平均単価		11,500 (10,900)	11,600 (10,400)	11,700 (9,500)		
檜総平均単価		15,400 (19,400)	14,300 (11,700)	11,700 (13,800)		
総平均単価		12,500 (11,400)	12,500 (10,500)	11,700 (10,900)		

(株)新宮原木市場
第52期
定時株主総会

8月29日、新宮木材会館に於いて(株)新宮原木市場の第52期定時株主総会が開催され、提出議案はすべて原案通り承認可決されました。



総会風景

m³単価 ()は平成28年度

◆ 2月16日(金) ◆
末社 詣り ◆
午前10時~

◆ 1月20日(土) ◆
ボウリング大会 ◆
午後5時半~

◆ 1月18日(木) ◆
(株)新宮原木市場 ◆
新春初市 午前10時~

〱 行事予定 〰



6月23日(土)	5月26日(土)	4月21日(土)	3月24日(土)	2月24日(土)	1月27日(土)
(1月~6月)					
組合事務局の月一回休業 (土曜日)のご案内					

事務局長
年末年始休業のおしらせ
12月30日(土)
~ 1月8日(月)

